

経営比較分析表（令和6年度決算）

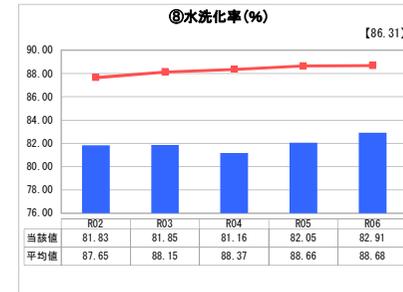
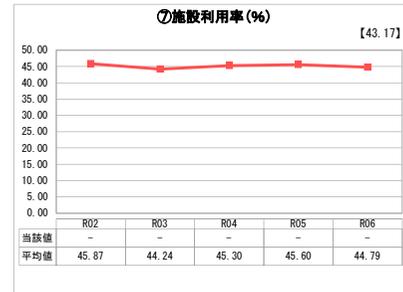
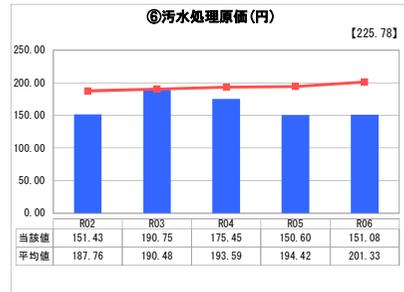
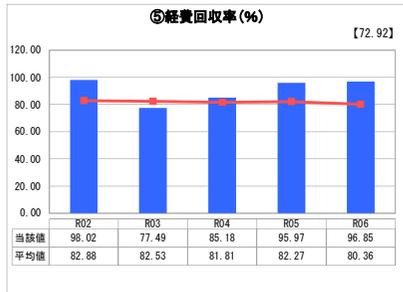
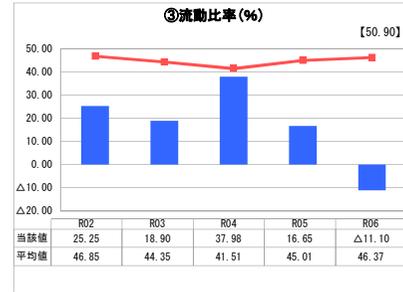
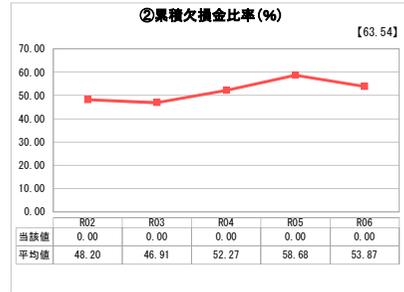
栃木県 宇都宮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.22	6.26	78.84	2,695

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
514,595	416.85	1,234.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
32,097	15.85	2,025.05

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

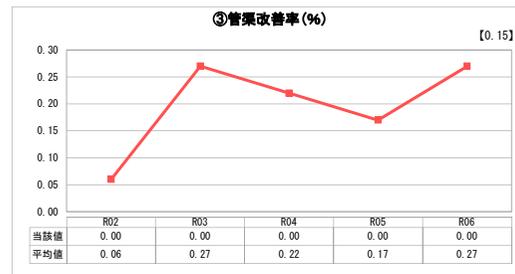
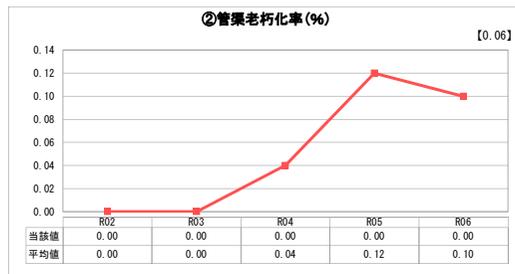
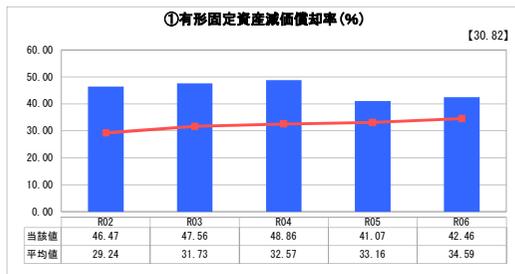
「①経常収支比率」は、下水道使用料収入が増加したものの、他会計補助金は減少し、前年度とほぼ同程度の数値となった。
 「③流動比率」は、令和6年度においてマイナスとなっているが、本来、公共下水道との一体管理をしているものであり、あくまでそれを有収率等の割合により配分した結果である。
 「④企業債残高対事業規模比率」は、償還額が借入額を上回ったことに伴う企業債残高の減により、低下傾向にある。
 「⑤経費回収率」は、下水道使用料収入の増加により令和6年度は前年度比でわずかに上昇したが、100%を下回って推移している。
 「⑥汚水処理原価」は、汚水処理費、年間有収水量ともに昨年度と同程度の数値であり、横ばいとなった。
 「⑧水洗化率」は、計画的な管渠の整備及び普及促進活動により、近年わずかながら上昇傾向にある。

「①経常収支比率」は100%を下回っているものの、「⑤経費回収率」については類似団体より高く推移していることから、一定程度、健全な経営状態にある。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、老朽化の進行により昨年度より上昇した。
 「②管渠老朽化率」及び「③管渠改善率」は、耐用年数を迎えた管渠はなく、0%となっている。
 「①有形固定資産減価償却率」は類似団体より高くなっているが、主に施設の老朽化が進行した結果である。

2. 老朽化の状況



全体総括

経費回収率が100%を下回っている中、物価高騰、職員給与費の増加に加え、今後、施設や管路の更新需要の増加が見込まれており、安定した経営状態を維持するためには、DXや官民連携の推進による事業の効率化により、費用を抑制するとともに、予定している使用料の改定により収益性を高めていく。これにより一層の経営の効率化・健全化を図り、経常収支比率や経費回収率の向上に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。